

絆



佐々木久之政治活動報告

2024年1月1日号

発行責任者

佐々木久之

討議資料

はじめに

令和5年第4回定例会が12月1日より21日までの21日間の日程で行われました。議会初日には、市長提出議案14件、諮問2件の16件が提出されました。

また一般質問では12名の議員より質問があり、「メガソーラー計画について」は5名の議員が行い関心の高さが伺えました。

学校適正規模等検討委員会

現在、少子化に伴う学校等の小規模化や学校施設老朽化等の課題を解決し、子ども達により良い教育環境を提供するため、鴨川市学校適正規模等検討委員会が設置をされ、検討されておりす。検討対象は、鴨川地区の小学校及び認定こども園となっております。4校統合及び3校統合を比較し

通学区域等の基本事項、スクールバスの運行など、統合小学校に対する配慮の内容、学習面や生活面等における優位点、施設整備等の懸案事項等の説明いただき協議がされております。

鴨川市議会議員研修会

議会議員とハラスメント

令和5年11月20日に鴨川市議会議員研修会が開催をされ15名の議員に出席を頂きました。内容は全国的に問題化している「議会議員とハラスメント」について弁護士の方をお招きし、2時間の研修が行われました。



令和3年に政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部を改正する法律が施行され、令和5年6月には柏市議会においてハラスメント防止を目的とした条例が成立するなど、議員活動に関わるハラスメントへの意識が高まりを見せております。この研修を受け鴨川市議会としても議員活動の活性化を進める中、議会として規範を示す事で各自がお互いを尊重し、対等な人間関係のもと議員活動をより円滑

に取り組むことができるようハラスメント防止の観点から現在、調査検討しております。私の議長任期中までに条例の制定ができればよう頑張っております。

子ども医療費助成制度

高校3年生相当年齢まで拡大

医療費への助成について、対象を拡大する自治体は年々増えており、鴨川市も以前から、こども医療費助成制度の助成対象年齢を中学生以降にも拡充してほしいと、市民の皆さまから強い要望を受けておりました。

この度、子ども医療費の助成制度に関する対象者が拡大されました。子どもの医療費を負担する保護者に対し、医療費の全部または一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもの保健の向上及び子育て支援の充実に寄与するものです。今後とも安心して子供を産み育てられる鴨川市を目指して参ります。開始時期は令和6年4月1日からとなります。



ご報告

被災宅地等復旧支援事業補助金

令和5年9月の台風第13号被害に対する支援を、自由民主党鴨川支部として行政へ、国のガイドラインや市の要綱に当てはまらない被災者のサポートギャップの解消について特段の配慮をお願いし、令和5年10月16日に要望書の提出をさせていただきました。その結果、この要望が叶い、今般の定例会において議案として上程され可決されました。

事業内容

【補助対象事業】

- ① 崩落した法面の整形及び保護に係る工事（土砂等の撤去を含む）
- ② 被災した擁壁の再設置及び補強に係る工事であって、建築基準法に適合するもの（既存擁壁の撤去及び排水施設の設置に係る工事を含む）
- ③ 土のう設置等の応急工事

【補助金額】

補助対象経費の3分の1の額（100万円を上限とする）

行政視察

建設経済常任委員会



令和5年10月19日～20日の日程で神戸市垂水区、泉南市へ行政視察に行ってきました。また、現在、鴨川シーワールドを運営しているサンケイビルが神戸市に新たに「神戸須磨シーワールド」を建設中であり、現地へ表敬訪問しました。令和6



年6月の開業に向け工事が進められ、一足先に工事途中ではありましたが、園内を見学させていただきました。

神戸市垂水区

【UR都市機構初の陸上養殖について】

団地を活用した陸上養殖の共同研究に取り組んでおり、賃貸施設を活用し、バナメイエビの養殖を行っているっており、新たな雇用の創出、空き家対策に期待の持てる事業であった。陸上養殖の主な方式として「かけ流し方式」「半閉鎖循環方式」「完全閉鎖循環方式」の3種

類あるが、ここでは水の完全リサイクル、最も環境負荷のかからない「完全閉鎖循環方式」を採用されていた。しかしデメリットとして浄化設備に係る高度な技術や電気代といった、費用対効果を考えると収益面では、まだハードルが高いように感じた。今後の課題としては高付加価値化、ブランド化、安定した供給体制等を研究し、本市としても空き



泉南市

【泉南りんくう公園】

大阪府が所有する未整備の公園用地を無償で借り受け、市費を一切投入せずPFI事業により都市公園を整備し賑わいの創出、インバウンド観光等への対応強化を図っている。本市も現在、前原横渚海岸周辺の賑わいの創出や地域活性化を図るため「海辺のグランドデザイン」の策定中であり、泉南市の取組は大変参考になった。民間事業者のアイデアやノ

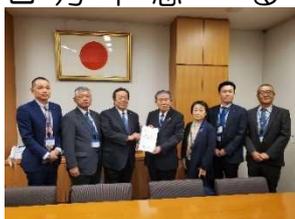
ウハウのみならず資金を活用したPFI方式は本市でも検討すべきであり、事業者の財政面の負担を少しでも減らすため、税制上の優遇措置や収益となるような方法を考えハードルを下げることで民間事業者が参入しやすい環境を整えることも必要である。



要望活動

館山・鴨川道路の計画の具体化

令和5年11月14日に国土交通省道路局、財務省、国会議員の先生方へ地域高規格道路「館山・鴨川道路」整備促進期成同盟会の要望活動に行ってきました。内容は内房と外房を連絡する国道128号は、太平洋沿岸を通過し、並行する代替路が無いことから切迫する巨大地震



や津波等による生活圏域の分断、地域の孤立の恐れがあること、千葉県の発展、地方創生、ポストコロ

ナ時代の「新たな日常」を実現するため地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期具体化及び整備、合わせて道路整備が着実に進められるよう必要な予算の確保を国へ強く要望しました。

おわりに

令和5年はスポーツにおいて本市で多くの出来事がありました。鴨川中の多田さん、野村さんの2選手の中学女子硬式野球日本代表が世界初V、WBSC U-18ベースボールワールドカップでは鴨川中出身の安田君が投手として出場し優勝。女子なでしこリーグ1部では「オルカ鴨川FC」が発足10年目で悲願の優勝。第38回東日本女子駅伝千葉県チームには安房東中出身の齋藤さんが出場するなど、他の競技でも多くの方の活躍がありました。今後のさらなる活躍が楽しみです。

佐々木久之後援会

住所 千葉県鴨川市太海200番地

電話 04(7092)0926

HP <https://www.sasakihisayuki.com>

E-mail info@sasakihisayuki.com

